

## 平成 28 年度協働事業の評価及び委員会意見

協働事業名	「外遊び」の力を次世代へ～子どもの力を地域の力に～		評価欄 <b>B</b>
協働事業者	Play_Park310	市担当課	生涯学習課 公園緑地課
事業の概要	<p>本事業は、子どもの冒険遊び場づくりをサポートするとともに、地域の多世代交流を促進させ、幅広い世代の居場所をつくることを目的としている。</p> <p>平成 28 年度は、双葉台公園において、平成 28 年 7 月 30 日(参加者約 110 名(うち子ども 70 名))及び平成 28 年 11 月 27 日(参加者約 50 名(うち子ども 35 名))の計 2 回、プレイパークを実施した。</p>		
委員会意見	<p>本事業は、子どもの冒険遊び場づくりをサポートするとともに、地域の多世代交流を促進させ、幅広い世代の居場所をつくることを目的としており、子ども達が外遊びを通じて、気軽に多世代と交流することができる場所を提供する貴重な事業であった。</p> <p>今年度問題となった事業の実施場所については、適した場所がなければ、引き続き検討を加えるなど、継続した取組に期待したかったが、協働事業としては 2 年で終了してしまい、大変残念である。</p> <p>資金面については、市から活動団体に対し、民間の助成金に関する情報提供を行うなど、継続的な支援を期待したい。</p> <p>市及び協働事業者は、引き続きそれぞれの課題の共有に努め、本事業をきっかけとして、地域コミュニティの活性化にもつながるこのような取組が広がっていくことを期待したい。</p>		

協働事業名	外国人が買い物しやすい商店街づくり		評価欄 B
協働事業者	グローバルフェスタいばらき実行委員会	市担当課	商工課
事業の概要	<p>本事業は、外国人が買い物しやすい商店街づくりを進め、外国人と共生できるまちづくりにより、中心市街地の活性化を実現することを目的としている。</p> <p>平成 28 年度は、グローバルフェスタいばらき 2016in 水戸(平成 28 年 5 月 14 日)の開催や、水戸まちなかフェスティバル(平成 28 年 9 月 25 日)への出店を通じ、国際交流の場を提供した。</p> <p>また、中心市街地の店舗を対象にアンケート調査を実施し、「海外の商品や料理を楽しめる map in 水戸」を作成、外国語学校や各大学留学生支援センター等へ配布した。</p>		
委員会意見	<p>本事業は、外国人と共生できるまちづくりを進め、中心市街地の活性化の実現などを目指すものであるが、事業目的と目的達成のための手段が曖昧になっている印象を受ける。</p> <p>平成 28 年度に作成した「海外の商品や料理を楽しめる map in 水戸」については、外国人が買い物しやすい状況がどのように生じたか、実際にマップがどのように使われたかなど、今後、作成の効果をきちんと調査することが求められる。市内には、多くの外国人ネットワークがあることから、そうした関係団体との連携・協力により、この事業を行うことでどのような効果が生まれてくるのかを改めて検証しながら、事業を展開してほしい。</p> <p>中心市街地の活性化の実現に向けては、継続した取組が必要であり、引き続き、市担当課と連携しながら、長期的な視点から事業の運営にあたっていただきたい。本事業が、中心市街地の活性化の実現に向けた一助となることを期待する。</p>		

協働事業名	セカンドライフを考える～幸せシニアライフ講座～		評価欄 <b>A</b>
協働事業者	株式会社 I F P	市担当課	高齢福祉課
事業の概要	<p>本事業は、シニア世代がセカンドライフを計画するために必要な知識について学びながら、これまでの生き方を振り返り、これからの人生をよりよく生きるためのライフプランについて考えることを目的としている。</p> <p>平成 28 年度は、地域の窓口である高齢者支援センターを通じ、事前に各地域（8 地区）のニーズ調査を行った。調査結果に基づき、講座ごとに取り扱うテーマを設定し、講座を開講した（計 8 回）。</p>		
委員会意見	<p>平成 28 年度は、各地域の高齢者支援センターを活用し、地域のニーズに合わせて講座の内容を設定するなど、地域的なアプローチから、事業を展開しており、高く評価できる。平成 29 年度についても、平成 28 年度事業を踏まえ、市民がより気軽に参加できるよう、講座の開催日時、会場等を見直すなど、協働事業者と市の担当課が適切な役割分担のもとで、より良い事業展開を目指しており、受講者のニーズにあった事業展開が期待できる。</p> <p>平成 29 年度をもって、本制度による協働事業は終了となるため、協働事業者及び市の担当課において、将来的な展望も視野に入れながら、事業運営にあたっていただきたい。</p>		

協働事業名	渡里湧水群の保全と活用		評価欄 <b>A</b>
協働事業者	渡里湧水群を活かす会	市担当課	環境課 公園緑地課 他
事業の概要	<p>本事業は、長者山風致地区北側崖下の湧水箇所、旧水路、あぜ道（認定外道路）、旧国道敷及び田野川の環境を整備し、台地上の歴史的遺産（台渡里官衙遺跡群等）と一体化して、歴史と自然が融合した地域をつくることを目的としている。</p> <p>平成 28 年度は、活動日である「湧水の日」（毎月第 2 日曜日）を中心に会員、地域住民が協力し、湧水整備、ホタル池整備等を行った。</p> <p>また、ホタルの観察会を実施したほか、「拡大活動日」には、関係団体や一般からの参加者ととも作業を実施した。</p>		
委員会意見	<p>本事業は、様々な主体が連携・協力しながら、除草作業など、地道に整備活動に取り組んでおり、高く評価できる。平成 29 年度で、本制度による協働事業は終了となるが、環境保全は一時的な取組でなく、継続して取り組んでいくことが重要であるから、引き続き、様々な主体と連携・協力しながら、事業を展開していただきたい。</p> <p>また、人々が安心して現地を訪れることができるよう、引き続き、整備作業を進めるとともに、今後は、現地がより多くの市民に周知されるよう、積極的な広報活動を検討していただきたい。</p>		

協働事業名	谷中二十三夜尊骨董市賑わい創出事業		評価欄 <b>B</b>
協働事業者	株式会社日宣メディックス	市担当課	観光課
事業の概要	<p>本事業は、保和苑を中心に、愛宕町から八幡町周辺の観光エリアの史跡・名所と連携し、骨董市を開催することで、地域の賑わい創出につなげることを目的としている。</p> <p>平成28年度は、谷中二十三夜尊桂岸寺・保和苑において骨董・蚤の市「格の市」を3回（平成28年10月15日、12月10日、平成29年2月11日）開催した。会場では、骨董市のほか、ステージイベント、ワークショップ、観光ボランティア「歴史アドバイザー水戸」によるロマンチックゾーンガイドツアーなどが行われた。</p>		
委員会意見	<p>本事業は、骨董市の開催をきっかけにして、谷中二十三夜尊の賑わいにつなげようという新しい試みであった。</p> <p>平成28年度は、骨董・蚤の市「格の市」を3回開催し、地域住民や地域の商店会等とのネットワークが構築されつつあり、今後も、あじさいまつりとの連携を図るなど、更なる事業展開に期待したい。</p> <p>平成29年度については、隔月ごとの開催が予定されているが、悪天候により、開催予定であった2回ともに中止となっている。今後も、イベント開催時の天候リスクは想定されることから、天候リスクに対する対応等についても、検討を進めてほしい。</p> <p>引き続き、地域住民や関係団体と連携を図りながら事業を進め、持続可能な賑わいの創出につなげていただきたい。</p>		

協働事業名	スマイルアースプロジェクト ～外国人も日本人も住みやすい地域をつくる～		評価欄 <b>A</b>
協働事業者	グローバラキグループと支える会	市担当課	文化交流課
事業の概要	<p>本事業は、外国人市民と日本人市民がお互いに理解を深めることで、住みやすい地域社会を作ることとを目的とし、異文化理解・多文化共生に向けた交流イベント等を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「スマイルアースフェスティバル」(平成 28 年 7 月 31 日 水戸芸術館)</li> <li>○「スマイルアース井戸端会議」(平成 28 年 11 月 5 日 水戸芸術館)</li> <li>○「スマイルアーススクール&amp;パーティー」 (平成 29 年 3 月 5 日 水戸市国際交流センター)</li> </ul>		
委員会意見	<p>平成 28 年度は、異文化理解・交流イベントの一つとして、「スマイルアース井戸端会議」というワークショップを開催し、外国人市民に対する聞き取り調査を行ったことは、外国人市民が抱える課題やニーズを把握するうえで、大変有効であったと言える。調査結果を踏まえ、平成 29 年度は、子育て支援に関する取組が予定されているが、外国人が抱えている生活の中の課題として、災害時の対応に対する問題等も挙げられていることから、今後、地域コミュニティとの連携についても検討しながら、事業を展開していただきたい。</p> <p>引き続き、市の担当課と連携しながら、事業の更なる充実に努めるとともに、事業成果を活用した広報活動を行うなど、更に理解が広がるよう、積極的な広報活動を検討していただきたい。</p> <p>本事業が、外国人市民と日本人市民の共生に向けた地域づくりの一助となることを期待する。</p>		

協働事業名	水戸オーガニ蕎麦プロジェクト		評価欄 <b>B</b>
協働事業者	一般社団法人 茨城県健康生きがいつくり協議会	市担当課	農政課
事業の概要	<p>本事業は、水戸市内の遊休農地を有効活用し、農作業を通して多世代で共有する地域社会を実現することを目的としている。</p> <p>平成 28 年度は、8 月から 12 月にかけて、蕎麦栽培に関する一連の農作業(畑耕起～有機質肥料仕込み～種蒔き～刈取～脱穀・とうみ掛け)を実施した。また、地域住民も招いて収穫祭(大場市民センター, 参加者 84 名), そばちょこ作りや蕎麦打ち初級講座を実施した。</p>		
委員会意見	<p>本事業は、水戸市内の遊休農地を有効活用し、蕎麦栽培を通して多世代で共有する地域社会の実現を目指す興味深い試みであるが、平成 28 年度の本事業への参加者は少なく、平成 29 年度事業においては、参加者が増加するよう、参加者の募集方法などに、より効果的な工夫を検討する必要がある。</p> <p>特に、都会の人々にプロジェクトに興味を持ってもらえるよう、蕎麦栽培の体験だけにとどまらず、多角的な視点から、体験作業に付加価値を見出すことを心掛けてほしい。また、本事業がより多くの人に周知されるよう、ソーシャル・ネットワーキング・サービスを活用した広報活動等についても、検討していただきたい。</p> <p>昨年度の反省点を整理し、協働事業者と市の担当課が密に連携することで、より良い事業展開を目指してほしい。本事業が、多世代で共有する地域社会の実現の一助となることを期待する。</p>		

## 評価過程・評価基準

### 【 評価過程 】

6月1日に実施された事業報告会において、協働事業の実績報告書をもとに、協働事業評価シートに沿って、事業の概要、利用者からの評価及び決算報告などについて、協働事業者と市の担当課から報告を受けた。また、協働事業者及び市の担当課に対して、委員による質疑応答を行った。

その後、全体での審議において、各委員の採点を合算し、評価した。また、今後事業を展開するにあたって、協働事業者と市の担当課とが更に協議を深めるべき事項について意見した。

### 【 評価基準 】

実績報告票及び協働事業評価シート並びに事業報告会をもとに、Plan（企画・計画段階）、Do（実行）、Check（評価）、Action（見直し）の4つの項目に沿って採点した。各委員の持ち点を20点とし、全委員の採点を合計した総合得点を評価の基礎とした。

また、今回の審査では、採点基準を次のように設けた。

☆ 各委員の1項目の評価（5点満点）×4項目×7人＝140点満点

			採点基準
A	評	価	105～140点
B	評	価	70～104点
C	評	価	35～69点
D	評	価	0～34点

### ☆ 審査項目及び審査の視点（20点満点）

審査項目	審査の視点	配点
1 P l a n (企画・計画段階)	① 事業目的を明確にし、協働する必要性について十分検討したか。 ② 協定書の内容は明確にしたか。 ③ 事業計画は双方協議して作成したか。	5
2 D o ( 実 行 )	① 事業の進捗を共有したか。 ② お互いに役割を果たしたか。 ③ 適切に進行管理できたか。 ④ 変更事項の協議を柔軟にできたか。	5
3 C h e c k ( 評 価 )	① 組織内部で事業を振り返ったか。 ② 受益者の評価を得られたか。 ③ 双方で事業を振り返ったか。	5
4 A c t i o n ( 見 直 し )	① 改善すべき点が明確になったか。 ② 改善方法は具体的か。	5